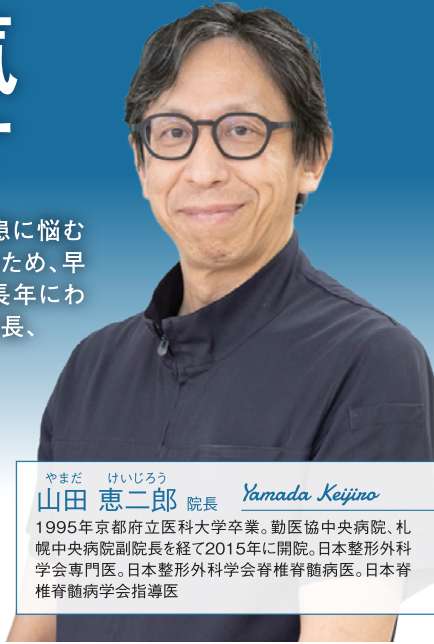


# 急増する「背椎＝背骨」の病気 脊椎を守り、健康寿命を延ばす



やまだ けいじろう 院長 Yamada Keijiro  
1995年京都府立医科大学卒業。動医協中央病院、札幌中央病院副院長を経て2015年に開院。日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会脊椎脊髄病医。日本脊椎脊髄病学会指導医。



はまだ かずのり 副院長 Hamada Kazunori  
1999年札幌医科大学卒業、滝川市立病院、浦河赤十字病院、札幌中央病院診療部長を経て2015年より現職。日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会脊椎脊髄病医。日本脊椎脊髄病学会指導医。医学博士

超高齢社会の進展に伴い、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど脊椎疾患に悩む患者さんが急増しています。脊椎疾患は運動器の機能低下や要介護の原因ともなるため、早期受診・診断と適切な治療につなげることが大切です。原因、治療法などについて、長年にわたり脊椎疾患の診療を専門としてきたさっぽろ脊椎外科クリニックの山田恵二郎院長、濱田一範副院長にお話を伺いました。

## 脊椎疾患について教えてください。

**山田** 脊椎は体を支える重要部で、体全体につながる神経の通り道です。脊椎に問題があると首や腰、背中の痛み、手足のしびれなどの症状が出ます。合には、手術治療が次の選択肢になります。

**濱田** 近年は顕微鏡などを、小さな傷(切開)で患者さんの体に負担の少ない低侵襲手術が行えるようになりました。傷口が小さいので出血が少なく、術後の回復が早いのが最大の利点。早くからリハビリができるので、入院日数の短縮、早期の社会復帰も見込めます。

**山田** 最新の低侵襲手術が「OLIF」「XLIF」という術式です。体の側方からわずかに数センチの切開で患部にアプローチします。大きく背中を切開する一般的な術式に比べ、背中の筋組織、神経への侵襲が少なく、手術翌日にはリハビリを開始できます。ただし、これらの術式は十分なトレーニングを積んだ有資格の医師しか行えず、実施する医療機関は限られます。

——どのような治療法がありますか？  
**山田** まずは投薬や注射、リハビリなどの保存治療から始めます。症状が進み、保存治療を尽くしても痛みが改善しない場合には、手術治療が次の選択肢になります。  
**濱田** 近年は顕微鏡などを、小さな傷(切開)で患者さんの体に負担の少ない低侵襲手術が行えるようになりました。傷口が小さいので出血が少なく、術後の回復が早いのが最大の利点。早くからリハビリができるので、入院日数の短縮、早期の社会復帰も見込めます。  
**山田** 最新の低侵襲手術が「OLIF」「XLIF」という術式です。体の側方からわずかに数センチの切開で患部にアプローチします。大きく背中を切開する一般的な術式に比べ、背中の筋組織、神経への侵襲が少なく、手術翌日にはリハビリを開始できます。ただし、これらの術式は十分なトレーニングを積んだ有資格の医師しか行えず、実施する医療機関は限られます。  
——最後に、首や腰の痛みに悩む患者さんにメッセージをお願いします。  
**濱田** 現代はインターネットなどさまざまな情報があふれ、誤った自己診断で不安になったり受診が遅れたりする人も少なくないです。どうか最終的な判断は、私たち脊椎の専門医に任せてください。患者さんが治療に何を求め、今後どういった生活スタイルを希望しているのか、じっくりお話を伺い、対話を重ね、患者さんの一生を診るつもりで診療に臨んでいます。  
近年では他医療機関からの再診療・手術の受け入れも増えています。首や腰の症状に悩んでいる方は多く、それに対する治療方針や術式は医療機関によってさまざまなので、自身に最も合った治療法、後で後悔しない治療法を選んでもらいたいです。  
**山田** 高齢化に伴い脊椎疾患の患者さんは急増していますが、きちんと診断がつかないまま症状が長期化している方も少なくないのが現状です。整形外科医の中でも、脊椎を専門的に診ることができ、医師は多くありません。加えて、広大な北海道では専門医の多くが札幌圏に集中し、地方では足りていない状況です。さらに病院の統廃合が進み、脊椎の診断や治療ができる病院がない地域も存在します。  
道内の地方で脊椎疾患で困っている患者さんとながり、正しい診断と治療を提供することも当クリニックの使命と考えています。治療後、退院後のリハビリについても各地の医療・リハビリ施設と連携し、継続的な支援体制を構築していますので、いつでも気軽に相談していただきたいと思います。

こんな症状に悩んでいませんか？  
脊椎に原因があるかもしれません！

- 首や腰の痛み
- 背中での痛み
- 手足のしびれ
- 歩行時の下肢痛

## おかげさまで開院10周年 脊椎外科手術の累積症例数は4,431例

※2015年12月のクリニック開業日から2026年2月末までの累積症例数です。※腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、腰椎変性側弯症、頸椎症などに対する総手術数です。

当クリニックは、おかげさまで開院から10周年を迎えることができました。10年の月日で積み重ねてきた経験と実績は当クリニックにとって何よりも貴重な財産です。今後もこれらを活かしてより良い脊椎疾患診療に邁進していく決意です。当クリニックでは、豊富な知識と臨床経験を持つ、日本脊椎脊髄病学会指導医2名と専任の麻酔科医が、診断から治療・手術・リハビリまで一貫して診療に当たります。

脊椎の健康を守ることは、自立して日常生活を送れる「健康寿命」を延ばすためのカギとなります。痛みやしびれを年のせいと我慢したり諦めたりせず、一度脊椎を専門的に診る病院を受診し、適切な検査や治療を受けてほしいです。当クリニックは専門性の高い医療を身近で受けられる環境づくりを目指し、道内各地からも多くの患者さんが来院しています。できるだけ体の負担の少ない治療や手術で早く元の状態に戻ってもらい、元気になってもらう解決法を提案しますので、お気軽にご相談ください。

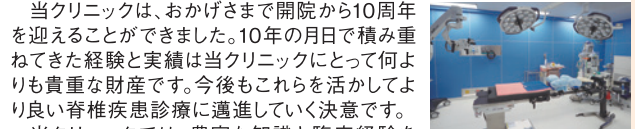
地下鉄南北線北12条駅、地下鉄東豊線北13条東駅のどちらからも徒歩圏内であり、JR札幌駅も近いなど利便性が良く、道内各地から多くの患者が訪れる。外来患者向けの駐車場(20台分)も備える  
当院HP <https://sapporo-spine.com/>

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:30  | ● | ● | ● | ● | ● |
| 14:00~16:30 | - | ● | - | ● | - |

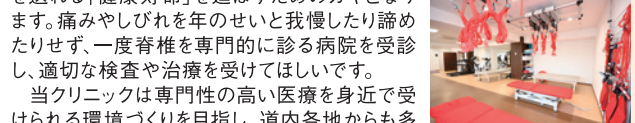
リハビリは月～金、毎日午前・午後ともに行っております。  
※当院は予約制となっております。(土・日・祝日休診)

予約専用ダイヤル(平日8:45~17:00)  
**TEL.011-729-4154**

■住所/札幌市北区北13条西2丁目2-1  
■電話番号/011-729-1154



**手術室**  
高度な医療機器を取りそろえた手術室。最新の術式である[OLIF][XLIF]ほか、各種の脊椎低侵襲手術を実施する



**リハビリ室**  
脊椎疾患に専門的な知識を持つ理学療法士が常駐し、患者一人ひとりに合ったリハビリプログラムを指導する